

「スモモ長果1」のブランド化推進のための

高品質安定生産・選果技術の開発

研究背景

「スモモ長果1」の育成

果実特性

- ・既存の経済品種がない9月下旬収穫の極晩生種
- ・大玉・高糖度の高品質果実生産



【食味の良い秋すもも】

販売戦略

- ・9月下旬収穫の極晩生種【新規性】
- ・高品質果実による差別化【区別性】



商標の活用
(高品質果実の販売)



「スモモ長果1」の
ブランド化推進

現状の課題

〈生産面〉

- ・糖度のばらつき
- ・裂果等障害果の発生
- 収穫時期・目安、着果管理方法が未確立



〈選果面〉

- 収穫果の非破壊での糖度測定法は未検討

研究目的

商標基準を満たす高品質果実生産技術 及び 簡易な選果技術の開発

研究概要

課題1. 商標基準を満たす高品質果実生産

- ・収穫適期判定基準の策定
- ・着果管理基準の策定
- ・障害果発生軽減技術の確立
- ・技術の組み合わせによる現地実証

課題2. 商標基準を満たす果実の簡易選果

- ・非破壊糖度計による簡易測定法の開発
- ・非破壊糖度計による選果の現地実証

研究出口



栽培管理・選果技術マニュアルの作成
果実重180g以上、糖度18%以上の
果実割合70%の達成

期待される成果

- ・栽培管理技術や選果技術マニュアルの作成による「スモモ長果1」の導入促進
- ・9月下旬出荷による生産者の収益向上
- ・高品質果実による有利販売が可能